

日本航海学会

第 153 回講演会・研究会の御案内

2025 年度(令和 7 年度)秋季

担当: 独立行政法人国立高等専門学校機構 富山高等専門学校

10 月 18 日(土) 講演会・企業展示会・代議員連絡会:

富山県民会館 7 階……………←

〒930-0006 富山県富山市新総曲輪4-18

交通アクセス: JR 富山駅から南へ徒歩約 10 分

情報交換会

ホテル グランテラス富山……………←

〒930-0004 富山県富山市桜橋通り2-28

交通アクセス: JR 富山駅から南東へ徒歩約 8 分

徒歩約 8 分

10 月 19 日(日) 研究会

富山県民会館

形式: ハイブリッド形式(対面およびオンライン)(予定)

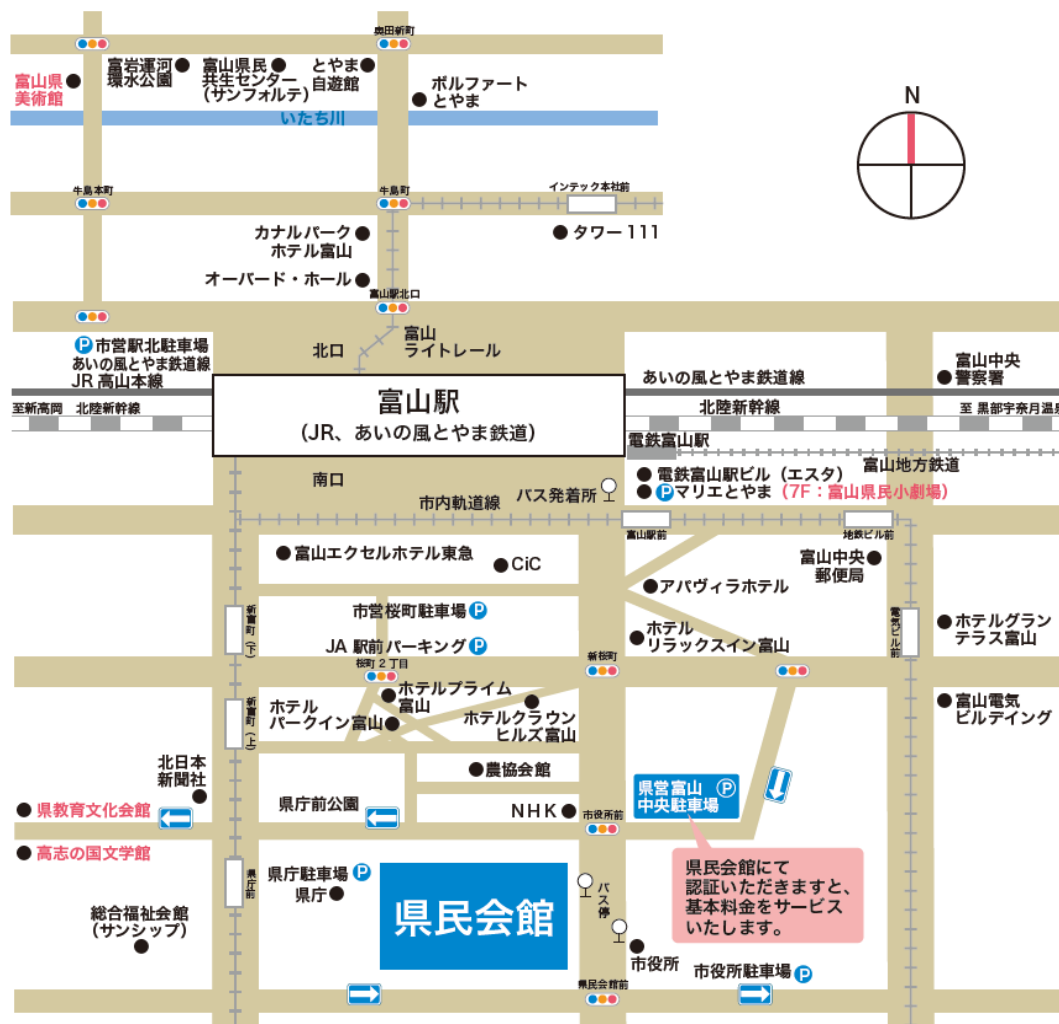
※ハイブリッドによるオンラインは、講演会(18 日午前・午後)及び
講演を行う研究会(19 日午前・午後)



(若潮丸 V 世(令和 7 年 10 月 23 日進水式) 完成イメージ図)

公益社団法人 日本航海学会

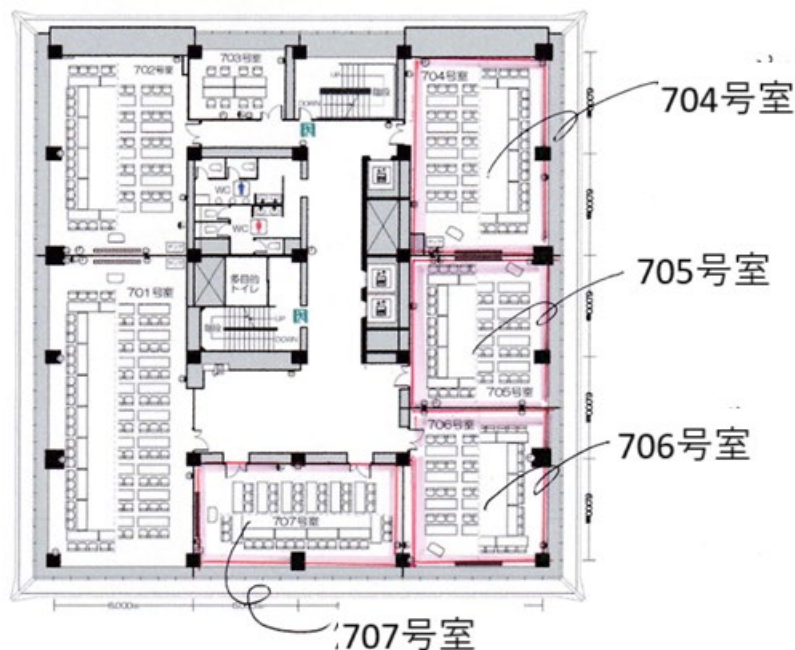
アクセスマップ(富山県民会館・ホテル グランテラス富山)



富山県民会館(県民会館)周辺地図



＜県民会館 7 階＞



※ **講演会・研究会参加費:**

☆10月16日(木)正午まで ＜オンライン参加登録(Base システム利用)＞

- ・会員 3,000 円、非会員 5,000 円、賛助会員・学生会員及び学生非会員 無料
- ・オンライン参加登録の方法等は、学会ホームページに掲載

☆10月16日(木)正午以降 ＜講演会場の受付デスクでの登録(現金のみ)＞

- ・会員 3,000 円、非会員 5,000 円、賛助会員・学生会員及び学生非会員 無料

※ **情報交換会参加費:**8,000 円(学生会員は 6,000 円)

☆18 日(土)、講演会場の受付デスクで参加費を集めさせていただきます。

※ 受付開始時刻:18 日(土)09:30 から 19 日(日)09:00 から

オンラインに関する注意事項

ハイブリッドによるオンラインは、講演会(18 日(土)午前・午後)、講演を行う研究会(19 日(日)午前・午後)となります。

オンラインは Zoom を利用します。オンライン参加者には、開催 1 週間前を目安に Zoom URL の情報をお送りします。Zoom URL は、他の方に知らせないで下さい。

通信環境・状況によりオンライン配信ができない場合があります。見逃し配信はありません。

質問は対面参加者を優先します。時間に余裕のあるときは時間に余裕のあるときはオンライン参加者からの質問を受け付けます。Zoom の手を挙げる機能にて挙手して下さい。または、Zoom のチャット機能に入力をお願いします。座長が質問を読み上げます。

対面参加者は、オンラインには入らないで下さい。

講演会アンケートについて

Web サイト上にて講演会に関するアンケートを実施します。参加された方は回答へのご協力を
お願いいたします。

情報交換会について

■情報交換会会場

ホテル グランテラス富山(県民会館から徒歩約 8 分)で行います。

■情報交換会申込みに関するお願い

情報交換会はビュッフェスタイルとなります。参加人数の把握が必要となります。このため、出欠
は第 153 回講演会事前登録ページの情報交換会の参加をチェックし送信をしてください。

■情報交換会参加費

参加費は一般 8,000 円で学生 6,000 円です。当日、受付にて現金でお支払いください。

10 月 18 日(土)

・講演会セッション (10:20-11:20、14:00-15:20) ハイブリッド

＜フレッシュマン講演及び一般講演＞

第 1 会場:富山県民会館 704 号室

第 2 会場:富山県民会館 705 号室

第 3 会場:富山県民会館 706 号室

・企業展示:707 号室

・フレッシュマン講演表彰判定会議(11:30-12:00) ※関係者のみ

第 1 会場:富山県民会館 704 号室

・代議員連絡会(16:00-17:30)

第 1 会場:704 号室)

・情報交換会(18:00-20:00)会場:ホテル グランテラス富山

＜参加費:8,000 円(学生会員は 6,000 円)＞

10 月 19 日(日)

・研究会

09:00-12:00 航法システム研究会 & 海上交通工学研究会(第 1 会場 704 号室)

10:00-12:00 シーマンシップ研究会(第 2 会場 705 号室)

09:00-12:00 海洋工学研究会(第 3 会場:706 号室)

* 10:40(現地集合):見学会(富岩運河中島閘門ほか)海上交通法規研究会

12:00-13:00 運営委員会

第1会場 (704 号室) 海上交通工学研究会, 航法システム研究会

第 2 会場(705 号室) シーマンシップ研究会、操船シミュレータ研究会

第 3 会場(706 号室) 海洋工学研究会

13:30-15:30 GPS/GNSS 研究会・航空宇宙研究会(第 1 会場 704 号室)

13:30-15:30 操船シミュレータ研究会(第 2 会場 705 号室)

内航海運研究会:別途開催予定

・15:30-16:30 研究委員会(第 1 会場 704 号室)

<オンライン参加について>

Zoom を用いたハイブリッド講演会を実施するにあたり、手順・注意点をまとめました。

オンラインに関する注意事項(再掲)

ハイブリッドによるオンラインは、講演会(18 日午前・午後)、講演を行う研究会(19 日午前・午後)のみとなります。

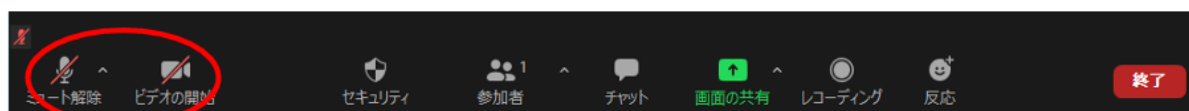
オンラインは Zoom を利用します。オンライン参加者には、開催 1 週間前を目安に Zoom URL の情報を送ります。Zoom URL は、他の方に知らせないで下さい。

通信環境・状況によりオンライン配信ができない場合があります。見逃し配信はありません。質問は対面参加者を優先します。時間に余裕のあるときはオンライン参加者からの質問を受け付けます。Zoom の手を挙げる機能にて挙手して下さい。または、Zoom のチャット機能に入力をお願いします。座長が質問を読み上げます。

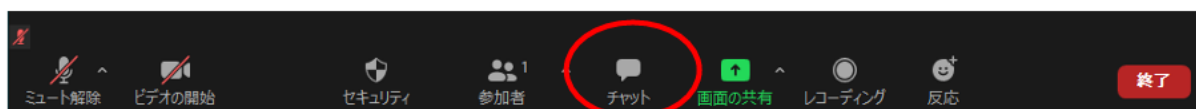
対面参加者は、オンラインには入らないで下さい。

(オンライン参加者の皆様へ)

- 開催 1 週間前を目安に送られる Zoom URL が記載されたプログラムを用意してください。
- プログラムに記載されている参加したいセッションに URL が記載されています。この URL をクリックしてください。
- Zoom の起動
 - URL をクリックしたらブラウザが起動し Zoom アプリを起動するか、WEB ブラウザで参加するか選択する画面となります。
 - アプリは <https://zoom.us/> のミーティングクライアントからダウンロードができます。自動的にインストールが始まる場合もあります。
 - WEB ブラウザによりアクセスする場合は、プログラムに記載された URL を入力し“参加”をクリックしてください。
- ホスト側で入室許可の手続きをとり次第、入室できます。なお名前の表示は日本語(漢字又はカタカナ)で氏名(所属)としてください。(例:越中太郎(航海学会))
- Zoom 画面左下のマイク、カメラをクリックすると ON、OFF が切り替わります。常時 OFF とするよう(上図のように斜線が表記されている状態)お願いします。



- 発表終了後、座長の進行で質疑応答の時間となりますが、対面参加者を優先します。
- 時間に余裕のある場合は、時間に余裕のあるときはオンライン参加者からの質問を受け付けます。Zoom の手を挙げる機能にて挙手して下さい。または、Zoom のチャット機能に入力をお願いします。座長が質問を読み上げます。



- 別セッションの講演を聴講したい場合には右下の「退室」ボタンを押し現在のセッションを退室した後、プログラムからリンクを確認しセッションに参加してください。
- 発表途中の入退室はなるべく行わないようお願いします。



(その他)

- 著作権保護の観点から発表時に共有される資料の撮影、録画等を行わないでください。
- 実行委員会が報告のためにスクリーン撮影をすることがあります。
- ログインした後の表示名は日本語(漢字又はカタカナ)の氏名(所属)で表示するようにしてください。

寄付、協賛等を頂いた企業・団体様（申し込み順）

・古野電気株式会社（企業展示あり）

FURUNO

・一般財団法人 日本海事協会（企業展示あり）

ClassNK

第 153 回講演会 協賛団体(順不同)

特別非営利活動法人安全工学会
公益社団法人計測自動制御学会
船員災害防止協会
一般社団法人全日本船舶職員協会
一般社団法人測位航法学会
公益財団法人日本海事広報協会
一般社団法人日本海難防止協会
一般社団法人日本海洋学会
特別非営利活動法人日本海洋工学会
日本海洋政策学会
日本海洋人間学会
一般社団法人日本機械学会
一般社団法人日本航空宇宙学会
公益社団法人日本水産学会、
一般財団法人日本水路協会
一般社団法人日本水難救済会
公益財団法人日本セーリング連盟
公益社団法人日本船舶海洋工学会
日本船舶品質管理協会
日本内燃機関連合会
一般社団法人日本人間工学会
日本物流学会
公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会
公益財団法人日本海事センター

公益社団法人 日本航海学会
第153回講演会・研究会 プログラム

10月18日（土）

令和7年9月16日版

会場	第1会場（704号室）		第2会場(705号室)		第3会場(706号室)	
セッション	第1セッション 座長：調整中		第3セッション 座長：調整中		第5セッション 座長：調整中	
10:20-10:40	講演番号：K153-01		講演番号：K153-08			
	接触中における水先艇の運動に関する基礎的研究 学生会員 山田 はな（東京海洋大学） 正会員 増田 光弘（東京海洋大学） 正会員 竹本 孝弘（東京海洋大学） 正会員 ○笹原 裕太郎（東京海洋大学）	F	機械学習を用いて船上風を海上風に補正する手法の検討 学生会員 ○増田 千輝（神戸大学） 正会員 林 美鶴（神戸大学） 非会員 廣川 綜一（神戸大学）	F		
10:40-11:00	講演番号：K153-02		講演番号：K153-09		講演番号：K153-15	
	浅水域でのその場回頭時のYaw運動の再現について 正会員 榊原 繁樹（東海大学） 正会員 砂原 俊之（東海大学） 名誉会員 久保 雅義（神戸大学名誉教授） 非会員 河口 長弘（船長・元水先人） 学生会員 ○田中 すずな（東海大学）	F	画像上の船舶軌跡とRTK-GNSSを用いた射影変換行列の同定に基づく航行船舶の実海域位置推定 正会員 ○都倉 幸太郎（中電技術コンサルタント㈱） 非会員 中村 秀明（山口大学） 正会員 山田 多津人（海上保安大学校） 非会員 渡辺 修士（中電技術コンサルタント㈱） 正会員 日高 康之（中電技術コンサルタント㈱） 正会員 水井 真治（中電技術コンサルタント㈱）	F	令和6年能登半島地震の前兆現象と津波に関する考察 正会員 亀井 志聖（富山高専） 正会員 西井 典子（鳥羽商船高専） 非会員 林 泰三（株式会社堀江商会） 終身会員 ○河合 雅司	
11:00-11:20	講演番号：K153-03		講演番号：K153-10		講演番号：K153-16	
	アジア～欧州航路における沖待ちの実態把握と要因分析 学生会員 ○香取 千遥（神戸大学） 正会員 笹 健児（神戸大学）	F	AIを利用した高感度カメラによる夜間画像を用いた船種識別 正会員 ○日高 康之（中電技術コンサルタント㈱） 非会員 中村 秀明（山口大学大学院） 正会員 大野 遼太郎（広島商船高等専門学校） 非会員 渡辺 修士（中電技術コンサルタント㈱） 正会員 都倉 幸太郎（中電技術コンサルタント㈱） 正会員 水井 真治（中電技術コンサルタント㈱）	G	模型製作方法が新型錨の実海域把駐性能に与える影響について 正会員 ○増田 光弘（東京海洋大学） 正会員 南 清和（東京海洋大学）	
11:30-12:00	フレッシュマン講演奨励賞判定会議（第1会場（704号室））					
12:00-14:00	休憩					
会場	第1会場（704号室）		第2会場(705号室)		第3会場(706号室)	
セッション	第2セッション 座長：調整中		第4セッション 座長：調整中		第6セッション 座長：調整中	
14:00-14:20	講演番号：K153-04		講演番号：K153-11		講演番号：K153-17	
	MSMと機械学習を用いた港湾風速推定モデル 正会員 ○濱地 義法（神戸大学） 正会員 大澤 輝夫（神戸大学） 正会員 林 美鶴（神戸大学） 学生会員 増田 千輝（神戸大学） 非会員 松本 陸椰（神戸大学）	G	船員教育における「認知的徒弟制」に基づく教育プログラム開発に向けた試み 正会員 ○田邊良祐（流通科学大学）	G	空港CDMにおけるCTOT精度向上のための運航情報分析 正会員 ○住谷 美登里（電子航法研究所） 非会員 呂 曉東	
14:20-14:40	講演番号：K153-05		講演番号：K153-12		講演番号：K153-18	
	過去・現在気候における二つ玉低気圧の発生状況と特徴 正会員 ○前島 康光（神戸大学） 非会員 池内 夏子（神戸大学） 非会員 後藤 涼良（神戸大学） 非会員 光本 晴紀（神戸大学）	G	操船シミュレータを用いた内田クレペリン検査における避航インシデント発生群の分析 正会員 ○齊藤 学（海技教育機構） 正会員 竹本 孝弘（東京海洋大学）	G	来島海峡航路西口海域における新たな安全対策導入にともなう海上交通流への影響に関する研究 正会員 ○山崎 慎也（弓削商船高専） 学生会員 清水 多聞（弓削商船高専） 正会員 野々山 和宏（弓削商船高専） 非会員 森 瑛太郎（弓削商船高専） 非会員 向井 利夫（弓削商船高専） 非会員 栗本 裕和（弓削商船高専）	
14:40-15:00	講演番号：K153-06		講演番号：K153-13		講演番号：K153-19	
	温暖化環境下におけるオホーツク海高気圧の動態 学生会員 ○飯田 理央（神戸大学） 正会員 前島 康光（神戸大学）	G	船員の墜落制止用器具特別教育における自己主導型教材の設計と学習意欲の調査に関する研究 正会員 ○町田 健三（海技教育機構）	G	インターネット時代の通信に関する新資格制度の提案 正会員 ○鈴木 治（中部大学） 正会員 吉田 南穂子（鳥羽商船高専） 正会員 霜田 一将（海技教育機構）	
15:00-15:20	講演番号：K153-07		講演番号：K153-14			
	避泊視点における気象情報の利活用に関する研究 -風向・風速の MSM 解析値と海上観測値の比較 - 正会員 ○大井 一道（海技教育機構）	G	操船シミュレータ運用時の対応判断に関係する意識すべき船舶の同定 正会員 ○今井 康之（東海大学） 正会員 瀬田 広明（東海大学） 非会員 海野 哲平（東海大学） 正会員 高嶋 恭子（東海大学）	G		
16:00-17:30	代議員連絡会（第1会場（704号室））					
18:00-20:00	情報交換会（ホテル グランテラス富山）					

講演者へのお知らせ：講演会の運営について
1. 講演時間は、発表15分、質疑応答5分です。
2. 発表開始の後、12分で1 鈴を、15分では2鈴を鳴らして発表時間の終了をお知らせします。
15分を経過してもまだ講演が続いている場合には、16分で3鈴を鳴らし、その時点で発表を打ち切っていただきます。また20分の講演終了時間は長鈴にてお知らせいたします。
3. 発表スライド画面及び音声のオンライン配信を行います。HDMI出力が可能なPCをご用意ください。

参加者へお願い：質疑応答について
1. 質疑応答におけるご質問の際には、ご所属とお名前をお知らせ下さい。
2. 時間の許す限り、活発なご討論をお願いいたします。

オンラインに関する注意事項
1. ハイブリッドによるオンラインは、講演会（18日午前・午後）、講演を行う研究会（19日午前・午後）のみとなります。
2. オンラインはZoomを利用します。オンライン参加者には、開催1週間前を目安にZoom urlの情報を送ります。Zoom urlは、他の方に知らせないで下さい。
3. 通信環境・状況によりオンライン配信ができない場合があります。見逃し配信はありません。
4. 質問は対面参加者を優先します。時間に余裕のあるときはオンラインからの質問を受け付けます。Zoomの手を挙げる機能にて挙手して下さい。
5. 対面参加者は、オンラインには入らないで下さい。

（その他）
1. 著作権保護の観点から発表時に共有される資料の撮影、録画等は行わないでください。
2. 実行委員会が報告のためにスクリーン撮影をすることがあります。
3. ログインした後の表示名は日本語（漢字又はカタカナ）の氏名（所属）で表示するようにしてください。

公益社団法人 日本航海学会
第153回講演会・研究会 プログラム

10月19日（日）

令和7年9月16日版

会 場	第 1 会場（704号室）		第 2 会場 (705号室)		第 3 会場 (706号室)
セッション名	航法システム研究会・海上交通工学研究会		シーマンシップ研究会		海洋工学研究会
9:00-12:00	調整中		テーマ：これからのシーマンシップと教育 10:00 開会 10:05～10:35（講演 1） 題 目：シーマンシップと教育 ～商船系高専が目指す海事教育～ 講演者：國枝佳明 校長（富山高専専門学校） 10:40～11:10（講演 2） 題 目：校内練習船におけるシーマンシップ 講演者：金山恵美 船長（富山高専専門学校 練習船若潮丸） 11:15～11:45（特別講演） 題 目：輸送の安全はあの手この手で 講演者：鈴木康子 首席外国船舶監督官（北陸信越運輸局 海事部） 11:45-12:00 全体討論 閉会		1. 内 容：講演会（「海からの災害予測・支援・調査」） 2. 日 時：2025(令和7)年10月18日(土)9:00～12:00（受付は9時前に開始） 3. 場 所：富山県民会館 706号室 4. プログラム内容 9:00～ 9:05 開会のあいさつ（増田光弘海洋工学研究会会長） 9:05～ 9:45 2024年能登半島地震の震源域における海神丸調査航海（佐野守様（神戸大学）） 9:45～10:25 海底地すべりと津波（村田一城様（港湾空港技術研究所）） 10:25～11:05 港湾内船舶の津波防災・減災対策に関する研究動向と今後の課題（筒井千晁様（商船三井マリテックス株式会社）） 11:05～11:45 津波被災後の水産資源調査（仮）（未定（富山県水産研究所）） 11:45～11:55 総合討論 11:55～12:00 閉会の挨拶（増田光弘海洋工学研究会会長） 5. 参加申し込み 対面参加の方には事前申し込みは不要です。多くの方の来聴をお待ちしています。 6. そ の 他： Zoomによるオンラインも併用します。 詳細は 海洋工学研究会HP（ https://j-nav.org/maritechnews/ ） にてお知らせします。  海洋工学研究会HP
12:00-13:30	運営委員会（各研究会） 第 1 会場（704号室）：海上交通工学研究会、航法システム研究会 第 2 会場（705号室）：シーマンシップ研究会、操船シミュレータ研究会 第 3 会場 (706号室)：海洋工学研究会				
会 場	第 1 会場（704号室）		第 2 会場 (705号室)		
セッション名	GPS/GNSS研究会・航空宇宙研究会		操船シミュレータ研究会		
13:30-15:30	調整中		1. （仮題目）これからの海技者に求められる能力と育成について ― 船舶管理に関する国際的な基準からの提言 ― 講演者：ベルンハルト シュルテ シップマネジメント ジャパン 株式会社 ゼネラルマネージャー 杉本和重氏 2. （仮題目）STCW条約の包括的な見直しの動向について 操船シミュレータ研究会		
15:30-16:30	研究委員会（704号室）				

見学会（10月19日 10:40 現地集合 ※時間厳守）	
海上交通法規研究会	
（目的） 海上交通法規研究会は、富岩水上ラインに乗船し、狭い水道である運河における交通の状況やパナマ運河方式を採用している中島閘門について知見を得るために見学会を開催する。 （行程） ・環水公園～中島閘門（操作室見学）～環水公園ルート 10：40：環水公園富岩水上ライン乗り場集合 11：00：富岩水上ライン乗船（途中：中島閘門操作室見学） ＜見どころ＞ パナマ運河方式(前後のゲートを交互に開閉することで水位の異なる水面を調整)の閘門で、中世から近代のヨーロッパで発達した水運技術をもつ中島閘門での水位調整は、まさに「水のエレベーター」。高低差2.5mもの迫力ある「水のエレベーター」を重要文化財の閘門で体験。 12：10：環水公園到着 その後、運営委員会開催 乗船料往復：¥2,000（税込み）	注意： 強風・高波・視界不良等の気象状況や、その他やむを得ない事由が発生した場合、運航を中止する場合がありますこと、ご了承お願いいたします。また、見学希望者の数と予約状況によっては、他の便に乗船する場合もあること、ご了承お願いいたします。その際には、改めてご連絡申し上げます。 見学申込み： 10月3日（金）12：00までに見学をお申し込みください。 見学希望者は、所属、氏名および連絡先（メールアドレス）を下記までご連絡願います。 海上交通法規研究会幹事 南 健悟（慶應大） minami.kengo[アットマーク]keio.jp ※[アットマーク]を半角@に直してお送りください。 ※ <u>見学希望者は、必ず学会参加料の支払が必要となりますので、当日、確認をさせていただく場合がありますこと、予めご了承ください。</u>

別途開催
内航海運研究会
調整中